

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

## 農林畜産食品部プレスリリース (2017年12月22日09時34分付け) 全羅北道井邑市の肉用あひる農場においてH5亜型AI疑似患畜確認

出典 URL:

[http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155450127&section\\_id=b\\_sec\\_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board\\_kind=C&board\\_skin\\_id=C3&depth=1&division=B&group\\_id=3&menu\\_id=1125&reference=2&parent\\_code=3&popup\\_yn=N&tab\\_yn=N](http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155450127&section_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N)

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部(長官:キムヨンロク)は、AI疫学検査の過程において、全羅北道井邑市の肉用あひる農場(飼育規模:約29,000羽)で検査を行った結果、H5亜型抗原が検出されたと12月22日(金)に発表した。
  - これにより、現地の家畜防疫官が出動し、その農場の先制的な予防的殺処分、移動制限、疫学調査など、鳥インフルエンザ緊急行動指針(AI SOP)に基づいて、緊急防疫措置を実施中
    - ※ N亜型と高病原性かどうかは、2~3日後出る予定
    - ※ 疑似患畜発生農場の500m以内に家きん飼育農家なし
- 農林畜産食品部は、AIの拡散を防ぐための遮断防疫措置に家きん農場を含む国民の積極的な協力を要請した。
  - 家きん農場と野生の渡り鳥の飛来地訪問を控える、疑似患畜発生地域の移動制限や消毒を実施するなど、積極的に協力要請した。